

**入場無料**

入場には申込み  
が必要です。  
裏面をご覧  
下さい。

# 四国八十八箇所霊場と遍路道 世界遺産登録推進 シンポジウム

平成31年1月27日(日)

13:30~16:00

ザクラウンパレス新阪急高知 3階 蘭の間

高知市本町4-2-50

## Program

### I. 基調報告

- ①「世界遺産に求められることと期待できること」  
下田 一太氏  
(文化庁 文化資源活用課 文化遺産国際協力室 世界文化遺産部門 文化財調査官)
- ②「四国遍路の世界遺産登録に向けた取組と課題」  
四国遍路世界遺産登録推進協議会事務局  
(香川県 政策部文化芸術局 文化振興課)

### II. 基調講演

- 「人はなぜ四国を巡るのか～四国遍路の求心力～」  
胡 光氏  
(愛媛大学 法文学部附属 四国遍路・世界の巡礼研究センター 副センター長)

### III. パネルディスカッション

- 「四国遍路の世界遺産登録に向けて」  
コーディネーター：大石 雅章氏 (鳴門教育大学 副学長)  
パネリスト：下田 一太氏、胡 光氏、  
長崎 勝教氏 (第三十八番金剛福寺住職 四国八十八ヶ所霊場会土佐部会長)

主催：「四国八十八箇所霊場と遍路道」世界遺産登録推進協議会  
協力：四国遍路日本遺産協議会  
後援：香川県、徳島県、高知県、愛媛県、香川県教育委員会  
徳島県教育委員会、高知県教育委員会、愛媛県教育委員会  
お問合せ：高知県総務部政策企画課  
TEL 088-823-9332 FAX 088-823-9267  
E-Mail 111601@ken.pref.kochi.lg.jp

こ  
こ  
ろ  
を  
つ  
な  
げ  
て  
、  
四  
国  
は  
ひ  
と  
つ



Program

I. 基調報告

① 「世界遺産に求められることと期待できること」

下田 一太 氏 (しもだ・いちた)

(文化庁 文化資源活用課 文化遺産国際協力室 世界文化遺産部門 文化財調査官)

専門は東南アジアの建築・都市史、組積造建築の保存工学、世界遺産学。カンボジアのアンコール遺跡群やインドネシアのボロブドゥール寺院において研究・修復事業に従事。2016年より現職に携わり、日本国内の世界文化遺産の推薦資産の準備・調整や登録された世界遺産の保存・管理を担当。



② 「四国遍路の世界遺産登録に向けた取組と課題」

四国遍路世界遺産登録推進協議会事務局

(香川県 政策部文化芸術局 文化振興課)

II. 基調講演

「人はなぜ四国を巡るのか  
～四国遍路の求心力～」

胡光 氏 (えべす・ひかる)

(愛媛大学 法文学部附属 四国遍路・世界の巡礼研究センター 副センター長)

1966年、愛媛県生まれ。愛媛大学教授、四国遍路と世界の巡礼研究センター副センター長。専門は日本近世史、四国遍路。香川県歴史博物館学芸員を経て、2013年から現職。愛媛県内の近世社寺等の調査を精力的に実施。著書に『四国遍路と山岳信仰』(共著、岩田書院)など。



III. パネルディスカッション

「四国遍路の世界遺産登録に向けて」

コーディネーター

大石 雅章 氏 (おおいし・まさあき)  
(鳴門教育大学 副学長)

1953年、大阪府生まれ。鳴門教育大学理事・副学長(教育・研究担当)。専門は、日本中世史。鳴門教育大学学校教育学部教授、地域連携センター所長を経て2016年より現職。四国遍路研究や四国遍路を活用した教育活動を実践。著書に『日本中世社会と寺院』(清文堂出版)、『徳島県の歴史』(共著、山川出版社)など。



パネリスト

下田 一太 氏  
胡光 氏  
長崎 勝教 氏

(第三十八番金剛福寺住職  
四国八十八箇所霊場会士佐部会長)

お申込み方法

参加ご希望の方は、必要事項をご記入の上、ファックスまたはEメールのいずれかにてお申し込みください。

※先着順で受付させていただきます。(定員200名) ※ご希望に添えない場合は、FAXにてお申し込みの方にはFAXで、Eメールにてお申し込みの方にはEメールにてご連絡差し上げます。

締切  
平成31年  
1月21日(月)

参加申込書

(フリガナ) お名前	参加人数		人
団体名等	電話番号		
	FAX番号		

ご記入いただきました個人情報は、厳重な管理のもとに、本シンポジウムに関してのみに使用いたします。

FAX 088-813-0260  
E-mail info@hito-to.com